の

●緑色は別名

信州 SHINSHU 草花木実

《目次》 1
ノースポール 2
ノアザミ 3
ノイバラ 4
ノウゴウイチゴ 5
ノウゼンカズラ 6
ノガリヤス 7
ノウルシ 8
ノカンゾウ 9
ノキシノブ 10
ノギラン 11
ノゲイヌムギ 12
ノコギリソウ 13
ノコンギク 14
ノジスミレ 15
ノダイオウ 16
ノダケ 17
ノヂシャ 18
ノハナショウブ 19
ノハラアザミ 20
ノハラナデシコ 21
ノビネチドリ 22
ノビル 23
ノブキ 24
ノブドウ 25
ノボタン 26
ノボロギク 27
ノミノツヅリ 28
ノミノフスマ 29
ノムラカエデ 30
ノモカリス・アペルタ 31
ノリウツギ 32

【花期 3〜6月】

2015.4.8長野

葉　2015.4.8長野

ノースポール　2015.4.8長野

ノースポール ——〈キク科キク属〉

ヨーロッパ南部の地中海沿岸から北アフリカ原産。1970年前後に日本に入ってきた園芸品種の耐寒性1年草。高さ10〜30cm。茎はよく分枝、こんもりと茂る。葉はやや細長い、ふちはギザギザと切れ込む。花はマーガレット似、径3〜4cm、舌状花は白色、管状花は黄色。【58】【77】

■ノースポール（North Pole)は北極点を意味する。【ウィキペディア】
■学名はクリサンセマム・パルドサム。ノースポールはサカタのタネの商品名だが種苗登録はされていない。【58】【ウィキペディア】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノースポール		○										

【花期 月】

ノアザミ　各地の山野に、もっとも普通に見られる【3】　2002.8.2美ヶ原方言

花　2003.10.19美ヶ原

総苞　2004.8.9八子ヶ峰

冠毛　2013.8.7霧ケ峰

茎葉　2003.7.13大町

ノアザミ　野薊　〈キク科アザミ属〉

日当たりのよい山野に生える多年草。茎は毛が密生、高さ60～120m。根生葉は花時まで残る、楕円形、長さ15～30cm、羽状中裂～深裂、裂片5～6対、茎葉は互生、長楕円形、基部は茎を抱く、葉はふちに刺が多い。頭花は茎頂と枝先に直立、径4～5cm、紅紫色、管状花のみ、総苞は2cm内外、総苞片は5～6列、互いにくっつき、刺針があり、粘液を出してベタつく。【3】【7】【18】【32】【41】

■名は、野にあるアザミ。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノアザミ				●	◐	◐	●	●				

【花期 5〜7月】落葉低木

ノイバラ　2015.5.29上田

花　蕾　2017.6.4松本

葉　2001.7.4戸隠

果実　2017.10.11松本

冬芽・刺　2002.3.21長野

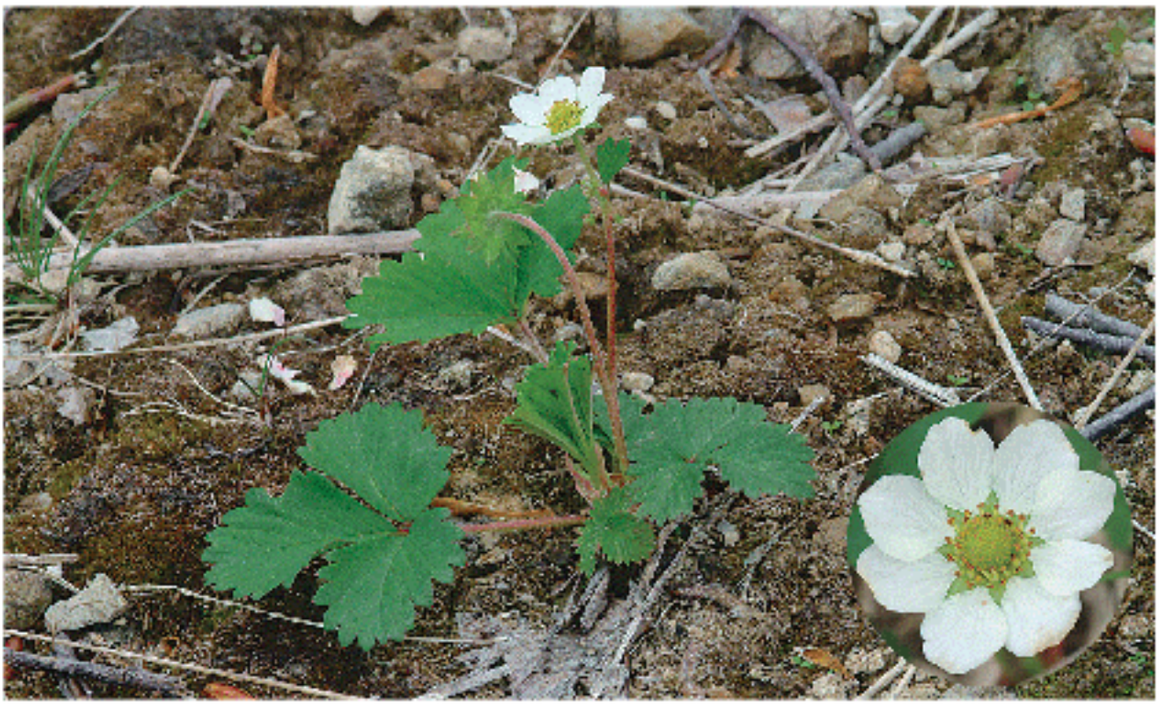
ノイバラ　野薔薇　別名ノバラ〈バラ科バラ属〉

山野に生え、高さ2m位。よく分枝、鋭い刺が多い、無毛。葉は互生、奇数羽状複葉、小葉1〜4対、卵形または長楕円形、長さ2〜5cm、ふちに鋸歯、裏面に短毛。枝先の円錐花序に香りのある白色または淡紅色の花を多数つける、直径2〜3cm、花弁5個。果実は偽果、球形、直径6〜9mm、赤く熟す。【4】【5】【18】【37】

■名は、野のバラ（薔薇）。【18】
■いばら（茨・荊・棘）＝①バラ・カラタチなど刺のある低木の総称。②人里近くに多いバラ科バラ属の低木の総称。【5】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノイバラ			○	○	○							

【花期 6～7月】



ノウゴウイチゴ　花(円内)　　2004.5.27白馬

果実　　2003.7.26白馬

ノウゴウイチゴ　能郷苺〈バラ科オランダイチゴ属〉

高山帯～亜高山帯の日当たりのよい湿った草地に生える多年草。高さ10～15cm。根茎は太く短い。花の後、匍枝を出して繁殖。葉は根生、長柄、3小葉。花茎を直立し、白色の花を1～3個つける、径1.5～2.5cm、萼片7～8個、副萼片7～8個、花弁7～8個、雄しべ多数。果実はそう果、甘くて美味しい。[3][15][18][32][42]

■名は、初めて発見された岐阜県能郷村の名をとったもの。[18]
■姿が似るシロバナヘビイチゴは萼片・花弁とも5個。[18] ■小葉はシロバナヘビイチゴに比べ、長さのわりに幅が広く、鋸歯の数が少ない。[32]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノウゴウイチゴ			○		○○							

ノウゼンカズラ　日本では結実しにくい【4】　2002.8.11小川

花　2002.8.11小川

雄しべ　4個のうち2個が長い【4】

ノウゼンカズラ　凌霄花　〈ノウゼンカズラ科ノウゼンカズラ属〉

中国原産。観賞用に植えられる。幹は蔓として長く延び、節部から気根を出して他をよじ登る。葉は対生、奇数羽状複葉、長さ10～30cm、小葉は2～5対、卵形か卵状披針形、先は尖る、ふちに粗い鋸歯、無毛。円錐花序を下垂、花は2個ずつ対生、上～横向き、黄赤色、漏斗形、花冠5裂、径6～7cm。【4】【5】【18】【37】

■名は、漢名凌霄（りょうしょう）から、平安時代の『本草和名』の乃宇世宇を経て、ノウゼンに転訛したと見られる。カズラは蔓（つた）の意。【25】■貝原益軒は、「花上の露目に入れば目暗くなる」と記述。だが、それは誤解で、毒は無い。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノウゼンカズラ					●●	●●						

【花期 4〜5月】

ノウルシ　茎から出る乳液は皮膚にかぶれをおこす【3】2009.4.29軽井沢町植物園

花　2009.4.29軽井沢町植物園

苞葉　杯状花序　2007.5.15軽井沢町植物園

ノウルシ　野漆〈トウダイグサ科トウダイグサ属〉

川岸など湿った草地に生える多年草。茎は直立、高さ30〜50cm。葉は互生、狭長楕円形または披針形、長さ5〜6cm、全縁、裏面に白い軟毛がある。茎の先端に葉を5個輪生し、杯状花序をつける。花序の下部につく苞葉は倒卵形、黄色、花序のふちの腺体は腎臓形、黄色、花序の中から雄しべ数個と雌しべ1個がのび出す。子房は球形、いぼ状突起がある。**有毒植物**。【3】【32】【42】

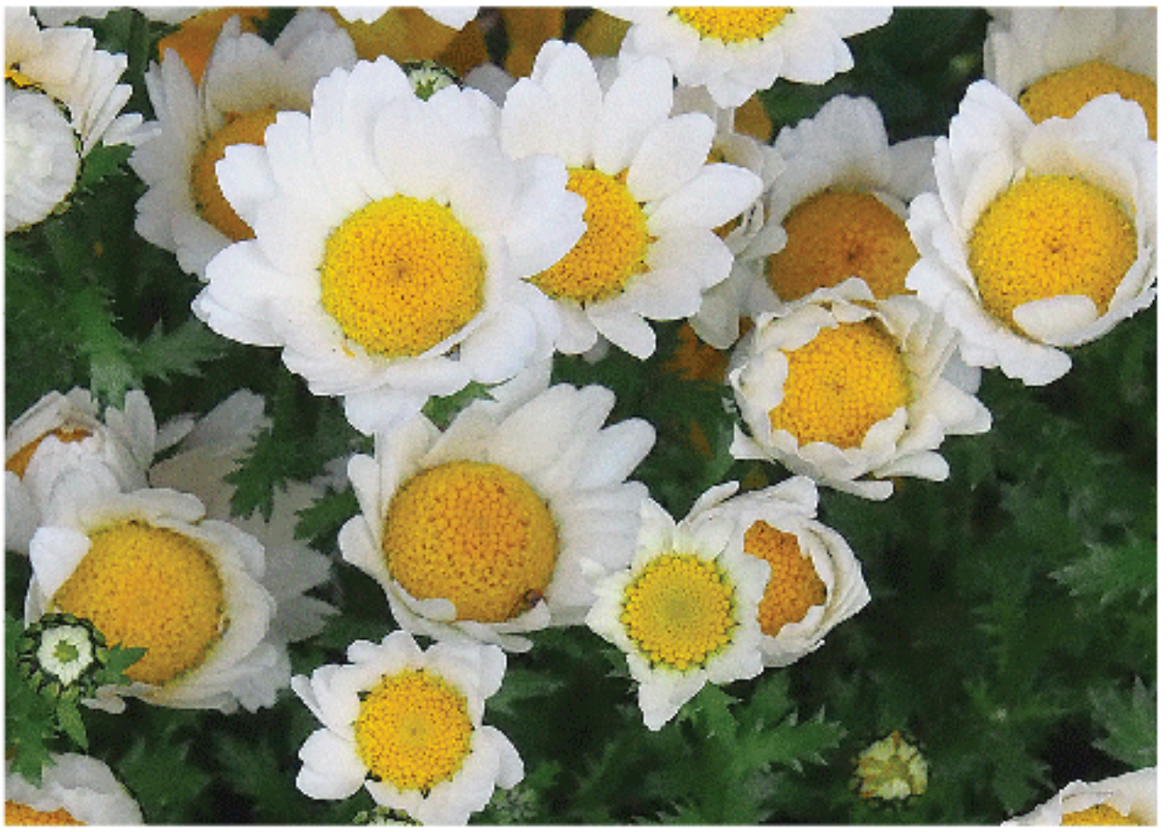
■名は、野原の生え、ウルシに似た乳液が茎から出ることによる。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノウルシ		●	●									

【花期 3〜6月】

2015.4.8長野

葉　2015.4.8長野



ノースポール　2015.4.8長野

ノースポール ——〈キク科キク属〉

ヨーロッパ南部の地中海沿岸から北アフリカ原産。1970年前後に日本に入ってきた園芸品種の耐寒性1年草。高さ10〜30cm。茎はよく分枝、こんもりと茂る。葉はやや細長い、ふちはギザギザと切れ込む。花はマーガレット似、径3〜4cm、舌状花は白色、管状花は黄色。【58】【77】

■ノースポール（North Pole)は北極点を意味する。【ウィキペディア】
■学名はクリサンセマム・パルドサム。ノースポールはサカタのタネの商品名だが種苗登録はされていない。【58】【ウィキペディア】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノースポール		○										

【花期 8〜10月】

小穂　花　　2017.8.11千曲

ノガリヤス　円内葉舌・葉耳　　2017.8.11千曲

ノガリヤス　野刈安〈イネ科ノガリヤス属〉

山地や丘陵に多い多年草。茎は叢生、直立。高さ50〜150cm。葉は線形、長さ30〜60cm、幅5〜12mm、葉面もふちもざらつく、葉舌は長さ2〜5mm。花序は円錐状、長さ10〜50cm、多くの枝を分け、小穂をつける。小穂は長さ4〜6mm、1小花からなる、小花は基部に短い白毛がある、護穎の芒が長く突き出す。【3】【18】【32】【72】

■名は、野に生えるカリヤスの意。【18】■別名サイトウガヤ（西塔茅）は比叡山西塔付近に多いので。【3】■平地や低山で普通に見られるノガリヤス属は、ヤマアワ、ホッスガヤ、ノガリヤス、ヒメノガリヤスのどれか。【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノガリヤス						●						

【花期 7～9月】

花　上向きに開く【42】　2001.8.15菅平

ノカンゾウ　2016.7.6中津川

ノカンゾウ 野萱草〈ユリ科ワスレグサ属〉

原野や川の土手などに生える多年草。葉は2列に束生、長さ50～70cm、幅7～12mm、冬に枯れる。花茎は太い、長さ70cmほど、頂部で2つに分かれ、計10個内外の花をつける。花はラッパ状、黄赤色～橙赤色(色は変異が多い)、径7cm内外、花被片6個、下方で合着、雄しべ6個、雌しべ1個、一日花で昼間だけ開く。果実が結実することは少ない。【3】【18】【32】【42】

■名は、中国の萱草(カンゾウ)に似るが、野山に野生するから。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノカンゾウ					●	●						

【花期 ――】

ノキシノブ　胞子嚢(円内)　　2003.11.23妻籠宿／円内2015.3.5小諸

ノキシノブ　軒忍　別名ヤツメラン〈ウラボシ科エゾデンタ属〉

樹皮や岩の上、屋根などに生える常緑の多年生のシダ。根茎は横に這う。葉は細長く、根茎上に並んで出る、長さ10～30cm、表面は深緑色、裏面は淡緑色、厚い革質、中脈が著しく隆起。葉の裏面の上半部に、円形の胞子嚢が2列に並んでつく。【5】【10】【18】

■軒シノブの名は、しばしば屋根の軒端に生えるから。【18】
■別名ヤツメランは、八目蘭。【5】
■葉は乾くと縮れるが、雨に会うとまた元に戻る。【10】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノキシノブ												

【花期 6〜8月】

総状花序　2013.8.11東館山高山植物園

ノギラン　2002.7.23戸隠

実　2003.8.13霧ケ峰

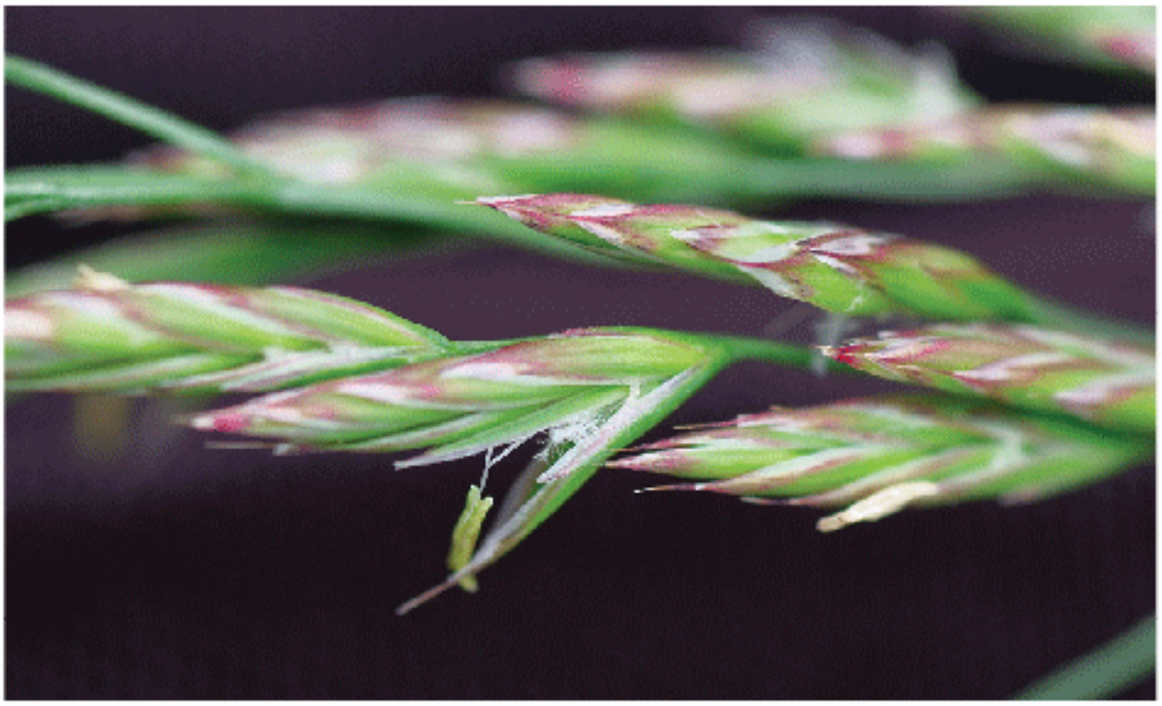
ノギラン　芒蘭〈ユリ科ノギラン属〉

山野の日当たりのよい地に生える多年草。葉は根生、8〜20個がロゼット状、倒披針形、長さ6〜20cm、扁平、先は尖る、艶がある。根生葉の間から20〜40cmの花茎を出し、先端に総状花序をつける。花は平開、花被片6個、線状披針形、黄緑色〜淡赤色、長さ6〜8mm、雄しべ6個、花被片より短い、子房は上位。花時がすむと花被片は細く巻いて果実を包む。【3】【18】【32】【42】【58】

■名は、芒をもつ蘭の意で、花形から。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノギラン					●●●	●						

【花期 4～6月】



ノゲイヌムギ　花　葯は黄色、長さ4～5mm【32】　2007.5.31長野

護穎の先の芒　花2007.5.31長野

ノゲイヌムギ 芒犬麦〈イネ科スズメノチャヒキ属〉

北アメリカ原産の多年草。露出した断崖や絶壁、草地などに生える。茎は束生。高さ80～150cm。葉は長さ20～30cm、幅7～12mm。葉鞘は背部で強く二つに折れ稜となる。花序は長さ18～25cm、先は開出または垂れる、枝には多数の小穂がつく。小穂は楕円形～披針形、長さ3cm内外、ひどく扁平、小花6～10個、護穎の先に短い芒。雄しべ3個、開花時に垂れ下がる。【32】【58】

■イヌムギは小花を開かず、自家受粉する。葯は長さ0.5mmしかない。【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノゲイヌムギ				●	●							

【花期 7〜9月】

花　園芸種かもしれない　2010.8.2白馬

葉　鋸の葉【18】　2003.8.13霧ケ峰

ノコギリソウ　総苞片は２列に並び、先は円い【32】　2003.8.13霧ケ峰

ノコギリソウ　鋸草〈キク科ノコギリソウ属〉

山の草原に生える多年草。茎は直立、高さ50〜100cm、上部に軟毛を密生。葉は互生、線状披針形〜長楕円形、長さ6〜10cm、幅0.7〜1.5cm、基部でやや茎を抱く、ふちは櫛の歯状に中〜深裂。茎の先に散房花序。頭花は径7〜9mm、舌状花は5〜7個、白色、長さ3.5〜4.5mm。果実はそう果、冠毛はない。【32】【42】【64】

■名は、葉縁の切れ込みを鋸の歯に見立てた。【18】
■花の色は基本的に白色であるが、まれに紅色を帯びるものがあり、品種改良された園芸種には濃紅色のものも見られる。【64】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノコギリソウ					●	●●	●					

【花期 8〜11月】

花序　2002.8.11白馬

葉はヨメナより毛が多くてざらつく【32】

ノコンギク　総苞片は緑色、先は少し暗紅紫色を帯びる【42】　2005.10.24長野

葉　3脈が目立つ【42】

冠毛　やや褐色を帯びる【32】

ノコンギク　野紺菊　〈キク科シオン属〉

山野に普通に生える多年草。茎は直立、多く枝を分け、ひどくざらつく、高さ50〜100cm。葉は互生、長楕円形または広披針形、長さ4〜12cm、先は尖る、基部は楔形、両面に毛があり、ざらつく、ほとんど無柄。頭花は枝先に散房状に多数つく、径2.5cm、淡紫色。果実はそう果、冠毛は長さ4〜6mm。【3】【5】【7】【32】【42】

■名は、野に咲く紺菊。花色に基づく。キクは、漢名菊の音読み。【18】
■変異性に富み、非常に多くの変種や品種がある。栽培品をコンギクと呼び、花数が多く、葉の鋸歯の深いものが多い。【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノコンギク												

【花期 3〜5月】

ノジスミレ　花は時に芳香がある【3】　2002.4.14飯山

花　側弁は普通無毛【3】2002.3.26長野

葉裏　2005.4.23長野

萼片　2005.4.23長野

ノジスミレ　野路菫〈スミレ科スミレ属〉

日当たりのよい道端や田畑の周辺、草原などに生える多年草。全体に細かい毛が密生。草丈は4〜8cm。葉は長楕円状か三角状の披針形、花期の頃は長さ3〜6cm、葉柄は葉身より短く、上部の両側に少しひれがつく。花は淡紫色や紅紫色など変化が多い、径1.2〜2cm、側弁は普通無毛、距は長さ5〜7mm。【3】【32】【44】

■スミレによく似ているが、根は白く、葉は立たず、花期はスミレより早い。【3】
■葉の形はスミレに比べ、春葉の時から下方の幅が広く、鋸歯がやや深くて数多く、葉柄のひれは狭くてはっきりしない。【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノジスミレ	●	●										

【花期 6〜8月】

ノダイオウ　2014.7.11菅平

花　無花弁【18】　2014.7.11菅平

葉　ふちは波うつ【64】2014.7.11菅平

実　2014.8.14菅平

ノダイオウ　野大黄〈ダデ科ギシギシ属〉

山野の湿原や川のふちに生える大型の多年草。茎は直立。高さ1〜1.5m。葉は長卵状楕円形〜長卵円形、長さ20〜35cm、根生葉と下部の葉は有柄、基部は円形、上部の葉は披針形〜長楕円形で小さく長い。茎の上部に小さな花を円錐状につける、萼片6個、雄しべ6個。果実はそう果、こぶ状突起はない。【18】【33】【64】

■名は、薬草のダイオウに似た野生種であるから。【33】
■上高地では大正池周辺に多い。【33】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノダイオウ					●							

【花期 9～11月】

花　花の色は白または暗紫色【1】　2002.8.14戸隠

ノダケ　2001.8.23信濃

葉　2003.9.15戸隠

果実　2003.9.15戸隠

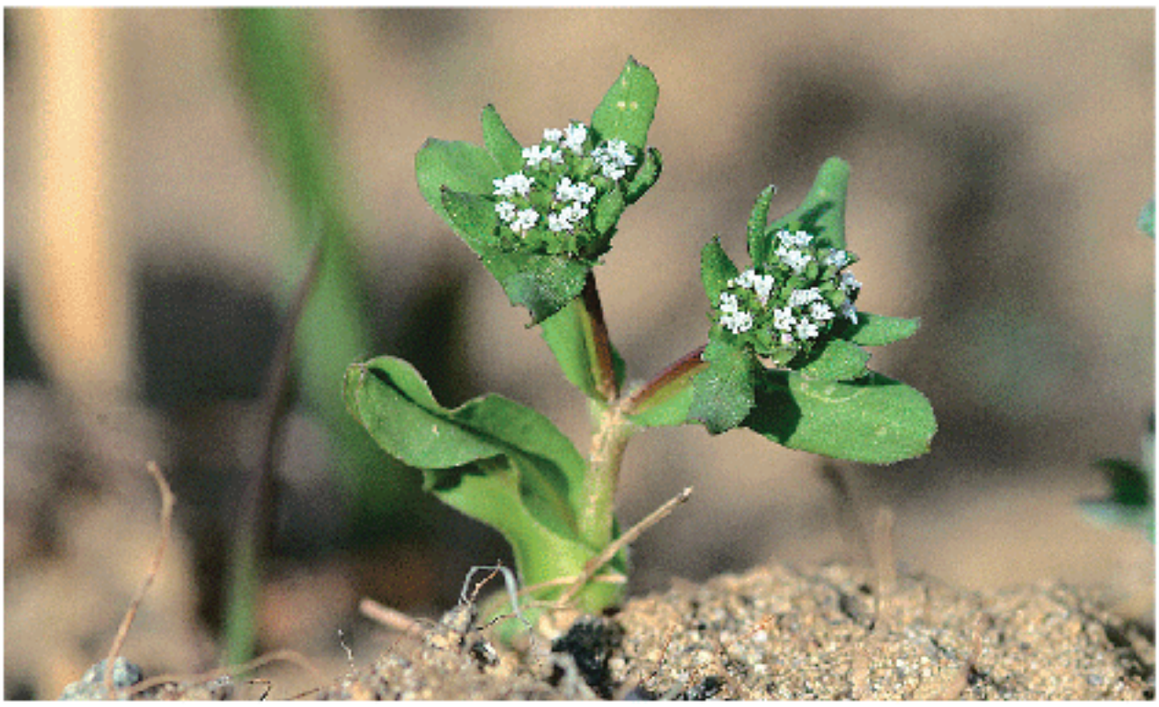
ノダケ　野竹・土当帰〈セリ科シシウド属〉

山野に生える多年草。茎は直立し、上部で少し枝を分ける。高さ1～1.5m。葉は互生、有柄、3出羽状複葉、小葉3深裂、卵形～披針形、ふちに鋸歯、頂小葉の基部は葉脈に沿って流れ、翼状、質厚、茎上部の葉は鞘だけとなって膨らむ。複散形花序に多数の小花をつける、花弁5個、雄しべ5個。果実は広い楕円形。【3】【18】【42】

■名は、漢名土当帰の音読みが訛（なま）ったと言われる。【18】
■根を漢方で解熱・鎮痛・去痰薬に用いる。【5】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノダケ												

【花期 4～6月】



ノヂシャ　2004.4.22長野

花　2002.4.24長野

葉　2002.4.20長野

果実　2002.5.11長野

ノヂシャ　野萵苣〈オミナエシ科ノヂシャ属〉

ヨーロッパ原産の1～越年草。帰化し道端や土手に群生。茎は二股状に枝を分け、高さ10～35cm。葉は対生、下部の葉は長倒卵形、上部の葉は長楕円形、長さ2～4cm。枝先に淡青色の小花を密生、花冠は漏斗形、5裂、直径1.5mm位、雄しべ3個、雌しべ1個、柱頭3裂。果実は痩果、長さ2～4mm。[3][5][18][32][42]

■名は、野に生えるチシャ（レタス・サラダ菜）の意。[3][5][18]
■ヨーロッパでは、この草をサラダ用に栽培している。[3] ■若芽はマーシュ（仏）とか、コーンサラダ（英）とかの名で洋食のつまに用いる。[32]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノヂシャ		●	●									

【花期 6～8月】

ノハナショウブ　外花被の基部に幅の狭い黄色部がある【32】　2003.7.6木島平

外花被・内花被　2003.7.23戸隠

葉　2002.6.17小川

ノハナショウブ　野花菖蒲〈アヤメ科アヤメ属〉

山野の草原や湿原に生える多年草。葉は直立、剣状、長さ20～60cm、幅1～2cm、中脈は盛り上がり、太くはっきりした筋となる特徴がある。花茎は直立、高さ40～120cm。花はやや赤みのある紫色、径10～13cm、外花被片3個、楕円形、下垂、基部に黄色部分がある、内花被片3個、細く角のように直立。【3】【18】【25】【32】【42】

- 名は、野性のハナショウブの意味で、牧野富太郎博士の命名。【2】
- 栽培品をハナショウブと呼び、花形・花色がさまざまである。【32】
- 果実はさく果、円みのある楕円形、長さ2～3cm。【42】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノハナショウブ				●	●●●●							

【花期 8〜10月】

ノハラアザミ　2004.8.16富士見

花　管状花のみ【18】　2002.8.14戸隠

総苞　くも糸状の毛がある【18】

根生葉　2004.8.16富士見

ノハラアザミ　野原薊〈キク科アザミ属〉

草原に生える多年草。茎は分枝、高さ40〜100cm。根生葉は花時にもある、有柄、葉身は長楕円状披針形、長さ25〜40cm、羽状中裂、裂片8〜12対、欠刻と刺がある、中脈は紅紫色を帯びる、茎葉は少ない、互生、羽状中裂、基部は茎を抱く。頭花は枝先に1個、時に2〜3個、上向き、径4cm、紅紫色、総苞は幅1.5〜2cm、総苞片は6〜7列、直立か斜上、ベトつかない。【3】【7】【18】【32】【42】

■名は、野原に多いアザミ。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノハラアザミ						●	●	●				

【花期 6〜8月】

ノハラナデシコ　　2016.6.26塩尻

ノハラナデシコ 野原撫子〈ナデシコ科ナデシコ属〉

ヨーロッパが原産の一年草。1967年に長野県で帰化が確認され、現在では本州〜九州に広がっている。高さ50cm程。根生葉は篦形、有柄、茎葉は対生、線形。花は茎頂に束生、花弁5個、淡い紅色、先端は不規則に切れ込む、白色の斑点が目立つ。果実はさく果、熟せば先が4裂する。【58】【72】

■学名Dianthus armeria。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノハラナデシコ				●								

【花期 5〜7月】

ノビネチドリ　葉のふちは波を打って曲がる【15】　2009.7.5栂池

花　2009.7.5栂池（ストロボ）

果実　2001.7.13戸隠

ノビネチドリ　延根千鳥〈ラン科テガタチドリ属〉

山地から高山の湿った林下に生える多年草。根はひも状で横に這い、多肉な直根がある。茎は太く、直立、高さ30〜60cm。葉は4〜7個が互生、楕円形または卵状楕円形、基部は茎を抱く、ふちは波を打つ。総状花序に淡紫色の花を密生、苞は披針形、距は細く、長さ4mm、先が曲がる。果実はさく果。【2】【3】【7】【15】【18】【33】

■名は、多数のひも状の太い根が延び、花の形がチドリ（千鳥）に似るから。【2】

● 【3】はテガタチドリ属。【18】はノビネチドリ属。

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノビネチドリ				●								

【花期 5～6月】

ノビル　鱗片は白色【3】　2003.3.17信州新

花　珠芽はぼろぼろ落ちて繁殖の用をする【32】　2014.6.27白馬

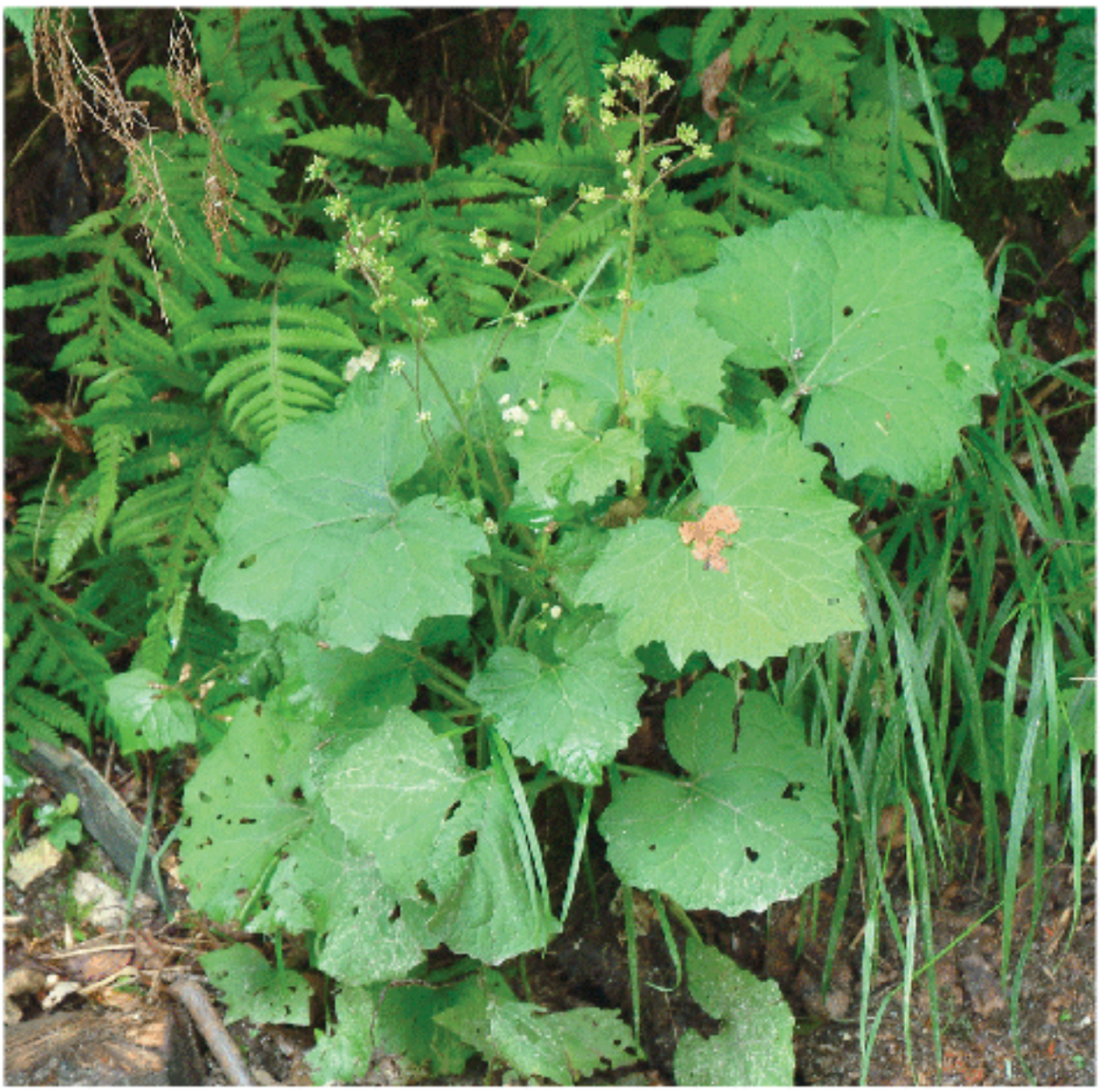
ノビル　野蒜　〈ユリ科ネギ属〉

人里近くの土手や野原などに普通に生える多年草。全草にニラの臭いがある。鱗茎は球形、径2cm内外。葉は2～4個、線形、長さ20～30cm。花茎は高さ50～80cm、先端に散形花序をつける。花被片6個、卵状長楕円形、長さ4～6mm、雄しべ6個、雌しべ1個、花の一部または全部が紫色の珠芽(ムカゴ)になる。【3】【18】【32】【42】

■名は、野に生えるヒルの意。【18】
■早春、鱗茎と一緒に若い葉を取り集め。ワケギのようにして食う。山菜中の優品である。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノビル												

【花期 8〜10月】



ノブキ　上は小さく、互生【42】　2004.8.10上高地

花　雄花は早落【32】　2003.9.15戸隠

実　棍棒状【42】　2003.10.1戸隠

ノブキ　野蕗〈キク科ノブキ属〉

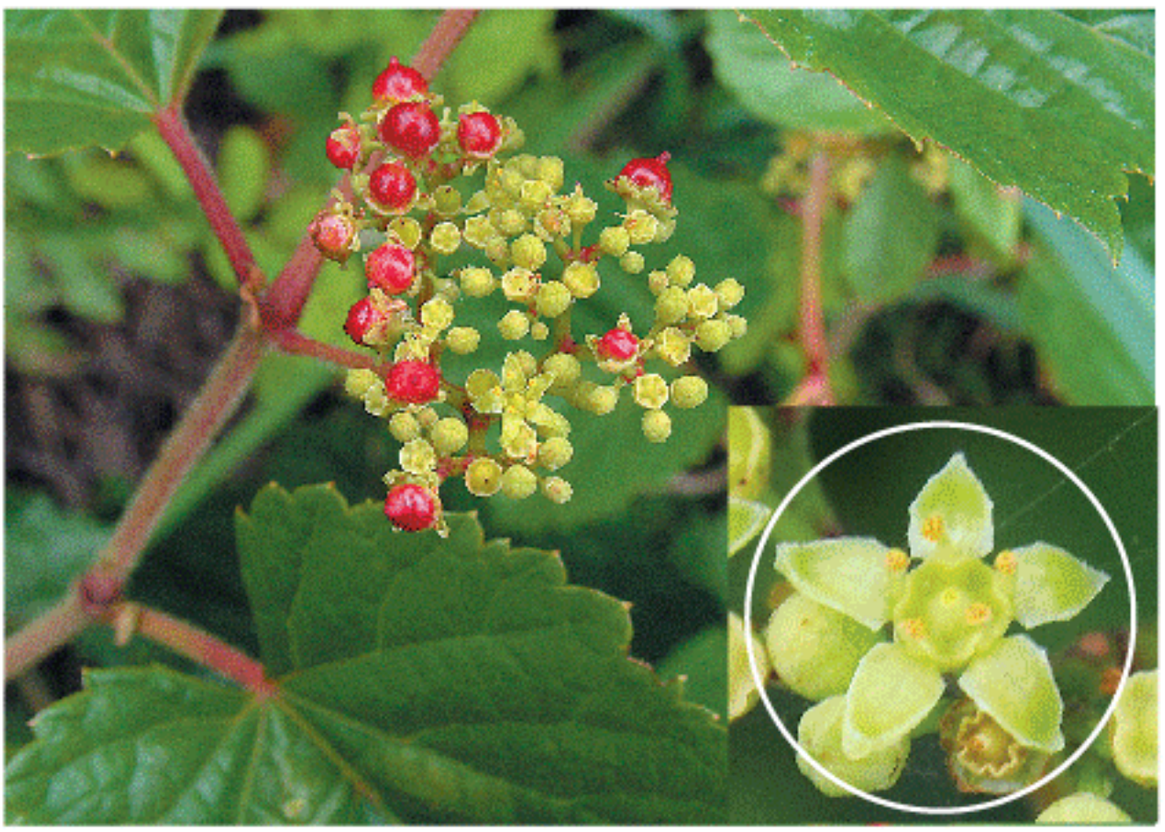
山の木陰の湿った所に生える多年草。横に這った地下茎から茎が立ち、高さ50〜100cm。下方の葉は多数束になって出る、長い葉柄に狭い翼がある、葉身は長さ7〜13cm。茎の上部で枝を分け、小さな頭花をつける。頭花は管状花、外側の7〜11個は雌花、結実する、内部は雄花、結実しない。果実はそう果、棍棒のような形で放射状、柄のある腺を密生、動物に付着し運ばれる。【32】【42】

■野のフキ。【18】■粘着型のやっかいな引っ付き虫の１つである。【49】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノブキ												

【花期 7～8月】落葉蔓性植物

葉　果実　葉の裏面は淡緑色【4】　1999.8.31鬼無里



ノブドウ　花　2002.6.20長野／円内2014.9.13長野

ノブドウ　野葡萄　〈ブドウ科ノブドウ属〉

山野に普通。葉と対生して二股に分かれた巻きひげがある。葉は互生、ほぼ円形、径4～13cm、普通3～5裂、基部は心形、ふちに鋸歯。葉に対生して集散花序を出し、淡緑色の小花を多数開く、径約3mm、萼は小さい、花弁5個、卵状三角形、雄しべ5個、雌しべ1個。果実は液果、球形、径5～8mm、色合いは様々。【4】【18】【49】

■名は、野にあるブドウの意味。【18】■果実は、ブドウタマバエやブドウトガリバチが寄生して虫えい（植物組織が異常に発達してできるこぶ状のもの）になり、異常に膨らんでいるものが多い。食べられない。【4】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノブドウ												

【花期 7～12月】半常緑～常緑低木

ノボタン・コートダジュール　シコンノボタン【83】　2016.9.25奈良井宿

ノボタン 野牡丹〈ノボタン科ノボタン属〉

東南アジア、オーストラリア、ブラジルなど原産。茎は木質化する、分枝。高さ0.3～3m。葉は対生、楕円形、長さ5～12cm、葉脈が目立つ。花は枝先に数個、萼片5個、花弁5個、雄しべ10個、花柱1個。果実は球形。【18】【78】【83】

■原種だけで系統・品種はない。ノボタンの学名をメラストマ・カンディずムといい、別名のシコンノボタンの学名をチボウキナ・セミカンドラというが、この両種は特性はじめ木姿もよく似ているので、日本では両種が混同されている。【74】
■一般にノボタンといえばシコンノボタン（紫紺野牡丹）をさすことが多い。【83】
■果実を食べると口の中が黒紫色になる。【18】【78】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノボタン							●					

【花期 一年中】

ノボロギク　花と綿毛　2003.3.23長野

春先の株　2002.2.26長野

葉　2002.3.25更埴

果実と冠毛　2002.3.25更埴

ノボロギク　野襤褸菊〈キク科キオン属〉

ヨーロッパ原産の1～2年草。明治の初め頃渡来し、各地の空き地や道端に生える。茎は赤味を帯び多数分枝、高さ30cm内外。葉は互生、不揃いな羽状の切れ込みがある。花は一年中あるが、特に春夏に多い。頭花は黄色の管状花、稀に少数の小さな舌状花をつける。果実は痩果、冠毛がある。[3][5][18]

■名は、野に咲く襤褸菊。花が咲く様子がボロ布の様に見えるので。[18]

■名は、ボロギク(＝サワギク)に似て、野に生えると言う意味である。[10]

■繁殖力が強く、果樹園などにたくさん生えている。[10]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノボロギク	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●

【花期 3〜6月】

ノミノツヅリ　果実は熟せば先が6裂し、微細な種子を吐く【32】　2002.5.26長野

花　1目盛は1mm　2004.4.15小諸

葉　細毛がある【3】　2004.4.15小諸

ノミノツヅリ　蚤の綴り〈ナデシコ科ノミノツヅリ属〉

平地のあらゆる場所に生える越年草。茎は細く、短毛を密生、よく分枝し、地を這う。高さ5〜25cm。葉は対生、卵円形、長さ3〜7mm、両面とも有毛。葉腋に長さ1cmほどの花柄を出し、小さな白花を開く、径3mmほど、萼片5個、花弁より長い、花弁5個、倒卵形か長楕円形、先は円い、雄しべ10個、花柱3個。【3】【18】【32】【42】

■名は、小形の葉をノミの短衣に例えたのであろう。【18】
■つづり(綴り)＝布切れなどをつぎ合わせて作った粗末な衣服。つづれ。【5】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノミノツヅリ		○	○○									

【花期 3〜10月】

ノミノフスマ　葉も茎も無毛【32】　2007.5.13長野

花　2009.5.21飯山

花　2007.5.13長野

ノミノフスマ 蚤の衾 〈ナデシコ科ハコベ属〉

荒れ地や田畑などに普通に生える越年草。茎は多数叢生、地面に広がり、枝を分ける。高さ5〜30cm。葉は対生、無柄、葉身は長楕円形か卵状披針形、長さ5〜18mm、先は鋭く尖る、全縁。疎らな集散花序を出し白い小さな花を開く、径8mm位、萼片5個、花弁5個、2深裂、萼片よりやや長い、雄しべ5〜7個、花柱3個。果実はさく果、楕円形。種子は腎円形、鈍い突起あり。【3】【18】【32】【42】

■名は、小さい葉をノミの夜具に例えた。【3】■衾＝夜具の一種。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノミノフスマ												

【花期 ――月】落葉小～中高木

翼果　　2002.5.3善光寺

ノムラカエデ　　2015.5.3須坂

ノムラカエデ　野村楓〈カエデ科カエデ属〉

江戸時代から知られるオオモミジの園芸品種。庭木として植栽される。葉は掌状に7～8裂、鋸歯がある、春は暗い紫色、夏は緑色を帯び、秋は紫紅色。【4】【58】【78】

■古名をムサシノ（武蔵野）という。【4】
■寒地に向く。【4】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノムラカエデ			●									

【花期 6〜7月】

ノモカリス・アペルタ　　2014.6.27白馬五竜高山植物園

ノモカリス・アペルタ ―― 〈ユリ科ノモカリス属〉

中国南部やビルマの標高3000〜3900mにある広葉樹林や竹やぶ、草地などに生える多年草。高さ25〜50cm。葉は互生、広披針形〜線状披針形。花は紅色〜ピンク色、濃いえび茶色または紫色がかった深紅色の斑点がある。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノモカリス・アペルタ												

ノリウツギ　2002.7.11長野

両性花

装飾花（中性花）

果実　2002.10.6八坂

黄葉と宿存する装飾花

冬芽（葉痕）　2002.10.15戸隠

幹・枝　2002.10.15戸隠

ノリウツギ　糊空木　別名ノリノキ・サビタ〈ユキノシタ科アジサイ属〉

日当たりのよい山地に生え、高さ2～5m。葉は対生ときに3輪生、卵状楕円形、先は鋭く尖る、ふちに細鋸歯。枝先に円錐花序、両性花は花弁5個、雄しべ10個、花柱3個、装飾花は萼片が花弁状、直径1～5cm。園芸品種のミナヅキは、花が全部装飾花。【4】【5】【18】【37】

■名は、幹の内皮で製紙用の糊を作るウツギ（幹が中空ゆえ）だから。【18】
■幹がウツギに似ている。【2】■根からパイプを作る。【15】
■アイヌの女性は、内皮の糊を、髪を洗うのに利用した。【25】
●阿部幸子著『ふるさと記行』は、新潟県津南町の大井平和紙は現在もニレ（ノリウツギ）の内皮を水に浸して採った粘液をネリとし、紙を漉いていると記す。

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ノリウツギ												